# 北部公民館だより

発行 蒲郡市北部公民館 蒲郡市清田町間堰 50 電話 69-9855 e-mail hokubu@sk.aitai.ne.jp

## 北部地区交通安全推進協議会

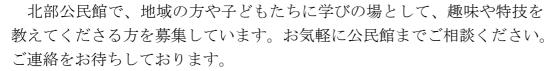
3月1日(金)に、北部地区交通安全推進協議会の決算会が行われました。事務局長の小柳津章弘さんと副事務局長の渡邉茂樹さんをはじめ、各地区の総代・副総代・駐在員などの役員の皆さま、各団体の代表の皆さまの朝の街頭立ち番や、交通安全キャンペーンなどの活動のおかげで北部地区の安全が見守られています。また、防犯パトロールのボラン



ティアの方々のおかげで子どもたちの事故もなく1年過ごせました。心から感謝いたします。 ありがとうございました。

長年北部地区の交通安全にご尽力いただいた渡邉茂樹さんが、今年度をもって退任されました。地域のためにありがとうございました。

## 講師を募集しています!





# 公民館講座のご案内「多肉植物」

多肉植物で「もこもこアフロへア―を作ろう」 自分でアレンジした鉢に、多肉植物を植えて育ててみよう!

日 時 4月13日(土)

10時~2時間程度

場 所 北部公民館1階会議室

会 費 500円(1人2鉢)

服 装 汚れてもいい服装

持ち物 鉛筆・消しゴム・ボールペン

油性マジック・水筒

定 員 10名程度

締め切り 4月10日(水)

申 込 公民館まで電話か事務所へ直接お越しください





水竹町総代 白井 昇 「この一年を振り返ってみて」

春となって、総代の任期も終り、この1年を振り返ってみました。コロナ 感染症が5類に移行され色々な行事が予定通り実施でき、町民の皆さんの触 れあいに少しでも寄与出来たらと思います。

私は、水竹町に引っ越し来て5年目で総代の大役引き受け、不慣れな中で も町の問題の解決に役立てればとの思いで取り組んできました。一つは、町

民相互のコミュニケーションの活発化です。朝、顔を合わせれば気軽に挨拶できる、そんな町にしたいと思い活動しました。二つ目は、ゴミの問題です。ゴミステーションのルール遵守やカラスによる悪戯で対策に追われる1年でした。三つ目は、安全安心です。交通安全の推進に取組むと共に、地震発生時の水竹池崩壊の危険度を下げる為、農林水産課に協力して頂き、池の水位を下げることが出来ました。新年元旦に発生した能登半島地震の土砂崩れによる被害を見ると、少しでも危険度を下げることは大切だと強く感じました。住みよく、美しく、安全安心な町づくりは、まだ沢山の課題がありますので、次期総代さんに託します。

この一年間、沢山の方々の御協力により活動を進めることが出来ました。全ての方に感謝すると共に、色々な方とお知り合いになれたことは、私にとってもかけがいの無い財産になりました。有り難う御座いました。



清田町総代 香ノ木和宏 「コロナ禍を乗り越えて」

今年度、諸行事の総代挨拶は「4年振りの・・・」が定番でした。前年度も 含め過去3年間はコロナ禍でかなりの行事が中止に追い込まれていました。 直近を参考にしようと記録を見ると、「コロナ中止」が思った以上に数多くあ りました。令和5年度はそのような状況下の中でのスタートでした。

幸いなことに、5月連休明けには、新型コロナの分類が第5類となり、いろいろな行事が再開することになりました。中でも、清田町地域ふれあい自主防災会と石山神社祭礼はたくさんの人を集める大きなイベントです。特に、清田町地域ふれあい自主防災会は直近の6月2日の大雨被害がまだ記憶に新しい頃に行ないましたので、参加者の皆様の高い関心を感じました。消防団の放水操法の披露など華やかな一面があり、多くの参加者の皆様の防災意識の向上が図れた行事となりました。

また、待ちに待った石山神社の祭礼は、4常会のお祭り保存会の奉納が見事で、沿道の皆様を楽しませてくださいました。また、厄落としの餅投げも賑やかにとりおこなわれ、多くの方々の笑顔が素晴らしかったです。

諸行事が再開された、この時期に清田町総代の重職を務めさせて頂いたことは、私にとって大きな喜びでした。そして、コロナ禍の「休止期間」をバネに、今後益々この清田・北部地区を盛り上げていきたいと思うばかりです。こののどかな「しずさとの地」を誇りに思いましょう。

いよいよ感謝の一年が終わろうとしています。さまざまな方の支援を得て、総代職を終えることができます。本当にありがとうございました。



#### 坂本町総代 千賀和彦

「地域活動を通して思うこと」

日頃より皆様に大変お世話になっております。

この1年間にわたりまして、総代として多義にわたり大変お世話になりました。ありがとうございました。無事に総代の任期を終えることができましたのも、皆様からの温かなご協力があればと実感しております。

個人的には未熟な点もいたらなかった点も多々あったかとは思っております。迷惑もおかけしてしまったことも少なからずあったであろうと実感しております。しかし皆様と一緒に協力し事を進めた時間は素晴らしい経験になりました。心よりお礼申し上げます。

地域の活動において、役員の仕事は決して楽とは言い難いものだと思いますが、その地域に 住む世帯すべてに、順番に廻ってくるのが役員の仕事です。この1年間に一緒に役員として頑 張ったことは、貴重な経験でありました。

1年間の総代の経験を活かして、これからも地域づくりに参加していきたいと切に思います。 最後にここで一つ、新しい生活に踏み出す「はなむけ」の名言をお知らせします。

「この道は一度しか通らない道、だから役に立つこと、人のためになることは今すぐやろう、 先に延ばしたり忘れたりしないように。この道は二度と通れないのだから。」

(アメリカの鉄鋼王・カーネギー)

### 北部保育園長 脇田百合子 「ありがとうがいっぱい」

年度末に向けて、保育園の中ではいろいろなところに「ありがとう」があふれています。卒園を迎える5歳児は、"お家の人と楽しい思い出を作ったり、感謝の気持ちを伝えたりしたい"と「ありがとうの会」を計画しました。担任の保育士と何度も繰り返し話し合いをして当日の内容を決めていました。内容が決まると、お家の人に来てもらうために、子ども達は招待状を書き、準備を進めていくとドキドキ・ワクワク。当日は、雨天のため、遊戯室で新聞島ゲーム。(ジャンケンをして負けると新聞を半分に折っていき、小さくなった新聞の上に残っていることができる人が勝つゲームです)親子対決の後は、保育士とジャンケン!ジャンケンで負けた親子はだんだん小さくなる新聞の上に少しでも長く立っていようとギュッと近づいたり抱っこしたりしながら頑張っていました。5歳児の子も抱っこやおんぶは大好きで笑顔がたくさん見られました。その後は似顔絵と歌のプレゼントをしました。歌も「今日は元気な歌がいい」と曲を選んでいました。大きくなった子ども達を見て思わず涙ぐむ方もいましたが、楽しく温かい会になりました。

次は、3・4歳児の順番です。今までたくさん遊んでもらった大きい組さんにありがとうを伝えようと「お別れ会」を計画しました。一緒に公園に散歩に行ったり、おやつパーティーをしたり、プレゼントを渡したり…。その前後にもグループに分かれて何度か遊んだので渡す子を決めてからプレゼント作りを始めました。その子を思いながら作ったプレゼントは、可愛い物ばかり。5歳児だけでなく保育士も温かい気持ちになりました。

未満児も、少しずつ周りの子に関心を持ち、使いたかった玩具を貸してもらえた時、一緒に手をつないだ時、いろいろな時に「ありがとう」という言葉が聞こえたりペコっとお辞儀したりするようになってきています。「ありがとう」の言葉は心がふんわりする気がします。ありがとうは心をつなぐ素敵な言葉だと思います。

地域の皆さんには、いつも保育園や子どもたちを温かく見守っていただき、本当にありがとうございます。そして、これからもよろしくお願い致します。

春渚犬の顔出すベビー 力

賽投げて思い占う梅日

柔らかな雨水の陽ざし土匂

筝 春 佳 iき予感故. 日満 の音に平安偲び春を呼 年 Ш 野球 春 に鳶

の笛

び

重

椏 の花芽ゆるびし沢の音 の虹

水底 の落葉の嵩 へ又落葉

L

げ

潮に下船せし身 の揺れてをり

春

炊きたての飯と小 皿の花菜漬

> 定 例 句会

静 里 句

会

 $\widehat{\Xi}$ 月

兀

日

美樹枝 み う子 美佐子 美津 江

正 美 子 子 多江子

令

佳

行事予定<4月>

1日(月)	推協予算会	2階ホール	19:00~
2 目 (火)	運営審議会	会議室	18:00~
2 目 (火)	公民館予算会	2階ホール	19:00~
9日 (火)	若大総会	2階ホール	13:30~
13月(土)	子ども会総会	2階ホール	13:30~
13日(土)	女性部総会	2階ホール	19:00~
17日(水)	楠の会開講式	会議室	13:30~
18日(木)	狂犬病予防接種	公民館玄関前	13:00~



# ~編集後記~

東日本大震災から 13 年。映像で見た津波や被災の様子は鮮明に記憶に 残っています。それでも、元旦の能登半島地震が起こるまで、当たり前の日常を 過ごすなかで意識は片隅のほうへと追いやられてしまいます。私たちは、被災さ れた方の声を聴くこと、気持ちに寄り添うこと、備えること。私は、忘れずにい たいと思います。